

会 議 議 事 録

1 会議名	第2回長岡市スポーツ施設整備基本構想策定委員会
2 開催日時	平成20年1月25日 午後6時30分から8時30分まで
3 開催場所	長岡市市民体育館会議室
4 出席者名	委員：山本委員長、大橋副委員長、金澤委員、篠田委員、高野委員、西原委員、丸山委員、矢野委員、山田委員、和田委員 市側：市民協働部長、スポーツ振興課（野口課長、木元課長補佐、今井係長、井口主事）、オブザーバー（公園緑地課長、建築住宅課長、(財)長岡市体育協会山口係長）
5 欠席者名	小林委員、立川委員
6 議題	(1) スポーツ施設の現状と課題について・・・資料No.1～6 (2) 長岡ニュータウン運動公園（仮称）整備について・・・ ・・・資料No.7～9
7 審議結果の概要	基本構想策定にあたっての基本的な考え方について検討し、今後の方向性について確認した。また、ニュータウン運動公園整備に関する意見交換では、整備基本構想案策定の基礎となる具体的な意見が多数挙げられた。
8 審議の内容	
委員	○議題（1）スポーツ施設の現状と課題について 利用者が減少している施設が多く見られるが、売却する考えはあるか。例えば、利用者の少ない2つの施設を廃止・売却し、新しく1つの施設を作るなど。
事務局	利用者が減少している施設は不要ではなくニーズに合っていないだけなのではないか。既存施設の利活用についても十分検討していただきたい。
委員	市の財源以外を有効に使っていただきたい。
事務局	国や県の補助対象となる事業については、積極的に活用していきたい。
委員	今後の維持・改修を行ううえで、耐震改修なども視野に入れて行ってほしい。
事務局	耐震改修については、現在学校改修を先行して行っているが、市全体としての計画を作成中である。
委員	ニーズの集約が重要であるが、新たに調査など行うのか。
事務局	どのような方法がよいか検討したうえで行いたい。
委員	競技スポーツだけではなく、初心者や健康維持のためにスポーツをする方々もたくさんいるので、その優先順位をどうするのが重要である。
委員	施設は利用者数ではなく稼働率が重要なのではないかと。稼働率を上げるため、各

委員	施設に総合型スポーツクラブを設立してはどうか。
事務局	スポーツ人口は全国的に減少傾向にあるが、競技志向ではないレクリエーションを楽しむ人は増えているのではないか。また、全くスポーツをしていない人たちにうまく施設を使っていただくようなソフト事業も必要ではないか。
委員	現在、長岡市スポーツ振興基本計画を作成中であるが、その中で議論されたものを当委員会にも反映させたい。
事務局	また、現在検討中の中之島体育館の整備計画の中では、体育館をひとつのコミュニティづくりの拠点にしたいという意見もある。
委員	ニュースポーツなど推進してはどうか。
事務局	現在、市が各コミュニティセンターと連携して行っている。体育協会では、カローリングやキンボールなどのニュースポーツ体験を行っている。
委員	障害者スポーツも増えていると思うが、施設のバリアフリーなどはどうなっているか。
事務局	車椅子でのバスケやテニスなどの利用者は多い。スロープなどのバリアフリーも進めている。
委員	一流選手を育てることも重要なので、施設ごとに時間帯などで競技力向上や健康増進などの分野や競技種目を限定してはどうか。
事務局	施設の性格付けなども検討していきたい。
委員	○議題（２）長岡ニュータウン運動公園（仮称）整備について
委員	緑は大事にしたいので、現状の自然を生かした整備にしてほしい。
委員	国営越後丘陵公園と行き来できる橋があるとよいのでは。
委員	自然の中の体験活動などできるとよい。
事務局	国営越後丘陵公園で同じような構想がある。
委員	運動公園はスポーツ色が強くてよいのではないか。子どもの大会ができるレベルの施設は必要である。また、既存施設の廃止なども必要なのではないか。
委員	河川敷の施設は廃止するのか。
事務局	廃止する予定はない。
委員	当委員会では全体的なメリハリというか、オールマイティよりもそれぞれの性格付けなどが必要なのでは。
委員	なぜ、ニュータウンに運動公園なのか。場所の選定は。
事務局	昔からのニュータウン構想においてスポーツ・健康ゾーンとして位置づけられていた。今は土地開発公社が所有しているので、今後市が取得する。
委員	災害時は防災拠点になったりするのか。また、太陽光や風力発電なども必要なのではないか。
事務局	防災公園として整備する案もある。太陽光発電などは今後検討したい。
委員	今後の市全体のスポーツ施設整備を視野に入れたニュータウン運動公園整備が必要である。
9 会議資料 別添のとおり	